

リスクマネジメント

リスクマネジメントの推進

オリンパスグループは、経営理念、経営戦略等を含めた「経営の基本方針」を実現するためのリスクマネジメントの取り組みを実施しています。具体的には、「リスクマネジメントおよび危機対応方針」および関連規程に基づき、積極的かつ適切なリスクテイクによる企業の持続的成長や価値創出につなげる“攻め”と、不正や事故の防止という“守り”の両方の視点で、リスクマネジメントを行っています。また、予期せぬインシデントが発生した際にも企業価値への影響を最小限にとどめるために、危機管理プロセスを整備しています。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制においては、グローバルなリスクマネジメント体制を構築し、経営戦略ほか当社の事業目標の達成に影響を与え得るリスクの分類を定義し、各リスク分類を管掌する執行役を明確にしています（リスクアシュアランスの確立）。各執行役は管掌するリスク分類に付随するリスクを許容範囲に収めるために必要な各種活動（組織体制の整備、プロセスの整備、重点施策の策定・実行など）を遂行します。

また、リスクマネジメントのプロセスをリスクアセスメント（リスクの特定、分析、評価およびリスク対応策の設定）、リスク対応策の実行、モニタリングおよびレポーティング、改善のPDCAサイクルで運用しています。リスクアセスメントは、年度計画策定プロセスに連動させ、全社共通の評価基準を用いてリスクを評価し、全社のリスクを可視化、一元管理しています。また、グループの重要リスクについてはその対応状況を定期的にグループ経営執行会議、取締役会および監査委員会へ報告し、継続的にモニタリングしています。

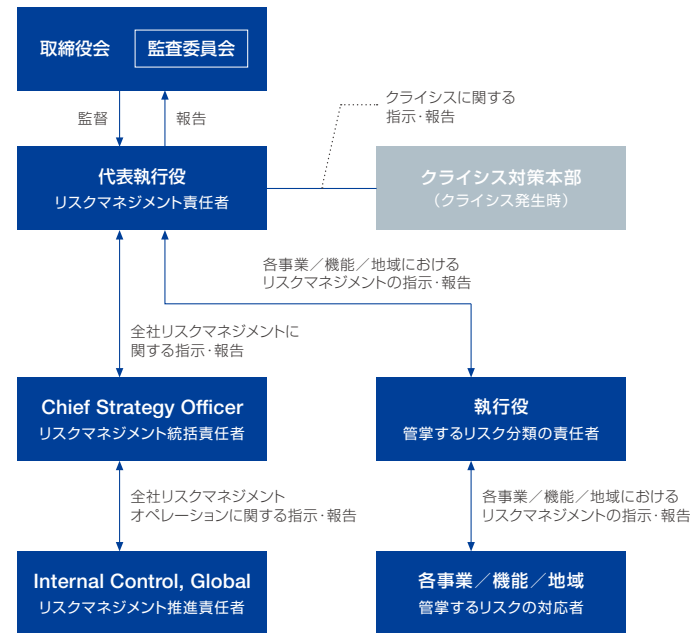
危機管理

オリンパスグループでは、経営に影響を及ぼす可能性のあるインシデントは、速やかに社長他経営陣に報告され、責任者が関連部署と連携して適切に対応しています。

また、従来のBCP（事業継続計画）の想定が地震や暴風雨等の自然災害が中心であったため、新型コロナウイルスのようなパンデミックも想定する方向に軌道修正し、いっそうバリューチェーンを強く意識した実践的な事業BCPを構築するために、統制の拠り所となる「BCP/BCM整備ガイドライン」を策定するなど、常時、防災・減災活動の改善に努めるとともに、教育・訓練を通じてBCPの実効性を高める活動を行っています。

引き続き、従業員、医療従事者の皆さま、患者さん、そしてコミュニティの健康と安全を守ることを最優先に、製品とサービスの供給を維持すべく、あらゆる対策を講じてまいります。

リスクマネジメント体制（2022年3月期）



「経営の基本方針」を達成するためのリスクマネジメント



事業等のリスク

<https://www.olympus.co.jp/ir/policy/risk.html>

主なリスク

	リスク	主なリスクの内容	主な対応策
事業環境に関するリスク	医療行政の方針変更、製品関連法規制強化および感染管理に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 各国の医療関連法規制や関連した行政の方針変更等による新製品やサービス提供への影響、製品に対する市場対応の必要性 十二指腸内視鏡に係る市販後調査に関するFDAによるさらなる規制措置 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な商品の開発と選定、法規制に適合した商品開発など、法規制等の変更に対する組織対応力の強化 関連する従業員へ定期的なトレーニングの実施
	市場・競合状況に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 代替技術・製品の出現による影響 ニーズに合った製品を適時に投入できないことによる競争力低下の有無 活用すべき機会 競争力のある製品投入による収益増加 	<ul style="list-style-type: none"> 採用すべき新技術の選定および開発の迅速化 社内開発と並行した社外技術の積極的な活用 高付加価値な新製品投入、製品ラインアップの強化
マーケットに関するリスク	経済環境に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 地政学的リスクの顕在化による影響 グローバル経済や各国景気動向の変化 各国の国家予算動向や政策の転換状況 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の地域、製品分野に依存しない事業展開 各国による自国の産業育成・保護等の政策の注視、タスクフォースの適時設置等
	為替変動に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 / 活用すべき機会 円高/円安による業績悪化/良化の動向 外貨建債権・債務の予定・実績の差異発生状況 	<ul style="list-style-type: none"> デリバティブ取引によるリスク軽減 グローバル・キャッシュ・プーリングを通じた外貨建債権・債務の縮小
	資金調達に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 / 活用すべき機会 金融市場の環境変化による資金調達への影響の発生状況 業績悪化/良化による資金調達コストの上昇/低下の動向 	<ul style="list-style-type: none"> 資金調達手段の多様化による調達コスト低減 グローバル・キャッシュ・プーリングを通じたグループ資金の効率化や財務管理強化
事業活動に関するリスク	開発活動に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 ニーズに合った製品を適時に開発できないことによる競争力低下の有無 開発期間の長期化による費用増加、開発資産の減損損失等の発生状況 活用すべき機会 技術開発の発展、ソリューション提供を通じた医療への貢献 早期診断、低侵襲治療、医療従事者の負荷軽減等への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 機動力のある技術開発を行うための組織体制整備 適切なプロダクトライフサイクル管理による開発効率向上および開発コスト削減 M&Aを通じた技術の獲得、製品ポートフォリオの拡充 デジタル技術、AI、ICT等を活用したサービス提供 ロボティクスの活用検討
	サプライチェーンに係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 調達における制約に伴う生産・供給の中断あるいは遅延の発生状況 地政学的リスク等による物流への影響 品質問題による市場対応等の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> End-to-Endサプライチェーンの構築 取引先との関係強化、BCP（事業継続計画）の強化 品質改善活動推進による品質問題の抑制
事業構造改革に係るリスク	業務提携、企業買収、事業売却および投資全般等に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 買収：事業遂行への影響、のれんの減損 売却：実施が困難となる、売却損、評価損等の発生状況 活用すべき機会 製品ポートフォリオの拡充や新技術の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 外部専門家を交え各種デューデリジェンス実施 投資評価の妥当性審議プロセス実施 内部指針、価値評価モデル、評価項目等の定期見直し
	事業構造改革に係るリスク	<ul style="list-style-type: none"> 注視すべき事項 全社横断の効率改善に向けた各施策の状況 活用すべき機会 持続的成長を実現する企業文化醸成と経営基盤の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ボトムアップ型施策の実行 各執行役による重点施策の推進

主なリスク(続き)

リスク	主なリスクの内容	主な対応策
法的規制に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 医療に関する法律、独占禁止法、贈収賄禁止に関する法律、ヘルスケア事業に関する不正防止法、プライバシーに係る規制等、各種法的規制に対する違反による処罰・訴訟の提起の状況 米国司法省との司法取引契約に係る今後の実施状況による、さらなる措置の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> 関連法令についての従業員教育の徹底 事業活動のモニタリング実施 関連法規制遵守状況のモニタリング実施
訴訟に関するリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 損害賠償請求等の重要な訴訟の提起の状況 知的財産権に関する係争等の発生状況 中国現地法人に係る訴訟の今後の経過 	<ul style="list-style-type: none"> 弁護士等の外部専門家との連携体制構築 関連部署のスキル・専門知識の強化 訴訟による損失に備えた保険付保
情報セキュリティに係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃による機密情報や個人情報の漏えいや、当社や顧客の事業中断等の発生状況 	<ul style="list-style-type: none"> 各種セキュリティの強化、グループ全体のインシデント対応体制の構築 全従業員への定期教育の実施
人材に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 高い技能を有する人材の獲得・維持ができないことによる競争力低下の有無 	<ul style="list-style-type: none"> スキルトレーニングプログラムの実施 タレントマネジメントシステムの導入 後継者育成計画の作成 リーダーシップ・コンピテンシー・モデルの定義 多様な人材の活躍を実現する体制の整備 競争力のある報酬水準と報酬体系の提供 人材採用の体制強化
内部統制に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 内部統制システムが有効に機能せず、不測の事態が発生、経営者の迅速な意思決定が阻害される状況の有無 	<ul style="list-style-type: none"> グローバル内部統制システムの整備・運用 運用状況モニタリングと経営報告の定期実施
税務に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 租税法令変更等による追加税負担の発生状況 繰延税金資産に対する評価性引当金の積み増し発生状況 	<ul style="list-style-type: none"> 法令改正等のモニタリング、社内取引ルールの見直し グループ各社収益性のモニタリング、適切な業績管理
気候変動・環境規制に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素・循環型社会の実現に向けた施策や環境規制強化に伴う、事業コストへの影響 気候変動に起因する自然災害による自社拠点の操業やサプライチェーンへの影響 	<ul style="list-style-type: none"> 規程類整備、教育等による環境法規制への対応力強化 カーボンニュートラルを目指しつつ、再生可能エネルギーの導入等の各種施策を実施
新型コロナウイルス感染症に係るリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 顧客訪問の制限や商談の延期・中止等の発生状況 症例数や設備投資の減少に伴う製品販売量への影響 製品・部品調達や、製造・製品供給への制約の発生状況 	<ul style="list-style-type: none"> 感染状況を勘案した営業活動等の実施 オンライントレーニングやデモ、セミナーの継続実施
自然災害、感染症、戦争、内戦およびその他のリスク	注視すべき事項 <ul style="list-style-type: none"> 自然災害等の発生状況 	<ul style="list-style-type: none"> グループ全体の危機対応ルールの整備・運用 BCPの策定、教育・訓練